



## 12月なかよし集会、なわとびの発表を全校でしました

縄跳び月間の取り組みのひとつとして、11日のなかよし集会で全校1人1人がじぶんのできるようになった技を披露しました。昨年までは委員会の上級生だけの技紹介だったのですが、1人1人に活躍の場があってとてもステキでした。



1年生!  
毎日元気にがんばっています!



2年生!  
ずいぶん上手になりました。



3年生!  
バランス感覚もばっちり!



4年生!  
さすが、跳び方が軽やかです!

(裏面に続く)



5年生！  
自分のめあてを  
もってがんばっ  
てます。達人カ  
ード挑戦者も！



6年生！  
さすが最高学  
年。練習の熱心  
さは学校の手  
本です！

## 校長コラム

人の良いところを見つけられる人は、自分の良いところもつけられる。

がんばった自分をいっぱいほめて、もっとよくなろうとする種にしましょう。

なかよし集会で、生活委員会が取り組んでいる、「ステキいっぱいクリスマスツリー」や、前号で紹介した「自学がんばり賞」の表彰、縄跳びがんばりカードなどに絡めて子どもたちに伝えたことです。日本の若者（大人も例外ではない）の自己肯定感は、他国と比べてずいぶん低いことはよく知られています。自己肯定感が低いことは、劣等感から他に嫉妬心を抱き、攻撃したり、依存心が強く自分で決められなかったり、自信が持てずすぐにあきらめてしまったりすることにつながります。これからのグローバルでAIが発達した社会を生き抜いていかなければならない子どもたちには自己肯定感の高まりは不可欠です。しかし、自己肯定感は一朝夕に高まっていくものではありません。河内小学校では、そのもとになる、他人を認めること、自分で決めること、自分に自信を持つことをたくさん経験することでその種を学んでほしいと思っています。時には意識して他人のいいところを見つけ、そこから自分のいいところ、がんばってることを認められるようになってほしいと願っています。

